

本書ができるまで

はじめは2019年12月のとある集まりから...

Gakken x Free PT salon プロジェクト始動!



選抜された
約50名で
制作を開始

コロナ禍でー

制作はほとんど
オンラインで
やりとり



人と人の
つながりによってできた一冊だからこそ
コネクションを大切にしたい!

本書のめざす先



自分のキャリアに自信がもてない
自分が何をしたいのかわからない
↓
さまざまな分野の現場の声から
未来の自分をつくるヒントを
得てほしい!

さあ!
未来へのページを
めくろう!

目次 contents

Part 1

リハビリテーションに必要な知識とスキル

1 まず、押さえてほしい基本

- 1 リハ職にとってのバイタルサインとは……鈴木啓太 012
- 2 リハ場面での問診、情報収集のコツ……鈴木啓太 014
- 3 リハ職の血液データの捉え方のポイント……境田淳平 017
- 4 筋力トレーニングに必要な栄養の知識—タンパク質を知ろう……渡辺慶輔 019
- 5 新人が知っておくべきリハ栄養の知識と実践……長島佳歩 022
- 6 治療薬の影響とリハ介入の注意点……境田淳平 026
- 7 知っておきたいリハでのリスク管理……佐々木翔平 028
- 8 X線画像の見方……甲斐紀章 031
- 9 脳のMRIの見方……関勝実 034

2 臨床の実際

- 1 関節可動域 (ROM) 制限の要因と介入の実際……越前谷友樹 038
- 2 筋力トレーニングの特性と実際……越前谷友樹 041
- 3 運動耐容能の基礎とアプローチ……竹岡広二 043
- 4 運動学習のイロハ……加藤諒大 046
- 5 運動制御と姿勢制御—地球上で生きる全人類に課せられた使命……原航海 048
- 6 姿勢分析のポイント—坐位・立位の特徴……越前谷友樹 051
- 7 「何か変」と気づくための動作分析……越前谷友樹 054
- 8 立ち上がり・着座動作のチェックポイント—どうすれば課題動作ができるのか最適解を探す……竹岡広二 056
- 9 最適なトランスファー—個人のトランスファースキルからシステムまで……竹岡広二 060
- 10 シンプルな力学モデルから紐解く歩行運動……越前谷友樹 064
- 11 歩行の神経システム—無意識プロセスへの介入……越前谷友樹 068
- 12 脳卒中患者の歩行分析に必要なこと……加藤諒大 071
- 13 「棟内歩行自立判断の困った」を解決する3つの手順—チーム医療の一員として……加藤諒大 075
- 14 歩行介助の基準とコツ……加藤諒大 079
- 15 「できるADL」と「しているADL」のギャップを減らし、QOL向上を目指すためのヒント……竹岡広二 082
- 16 全体像を把握しよう—予後予測と他職種連携につなげるために……今井健太 085
- 17 具体的で幅広く正確な目標設定に必要な3つのポイント……今井健太 088
- 18 福祉用具を正しく使うと武器になる……木村亜友美 091
- 19 ポジショニングは楽しい！……木村亜友美 094
- 20 車椅子のシーティングは患者の生活を豊かにする……渡邊敦由 097
- 21 運動療法でもう困らない—適切な運動を提供できるセラピストになる……山下裕太 100
- 22 患者の信頼を得る触診法……岡田直樹 103

3 もう一步深めたい知識

- 1 痛みと多方面から向き合う—多面的な評価の必要性……小峰知久 106
- 2 筋緊張異常とは何か……松井洸 110
- 3 脳の可塑性……岩淵翔一 112
- 4 感覚と運動のかかわり……松井洸 115
- 5 感覚障害の特徴とアプローチ……松井洸 117
- 6 めまいが出た時の鑑別と対応法—あなたはどのようにする?……近裕介 119
- 7 モチベーションとセルフ・エフィカシー—患者がリハに主体的に取り組める環境作り……竹岡広二 123

4 ささまざまなリハ実践

- 1 認知症の知識と対応……松井洸 127
- 2 がんのリハビリテーションにかかわるための基礎知識……境田淳平 130
- 3 健康な女性であるために、健康な女性を守るために、できること……木村亜友美 132
- 4 理解すると差がつく臨床でよく出会う浮腫……宇佐美希未佳 134
- 5 脳振盪後のリハビリテーション……境田淳平 137
- 6 小児リハビリテーションに必要な知識……中川将吾 140
- 7 ロボットを用いたリハ—特徴と落とし穴について……加藤諒大 143
- 8 ヨガとピラティスを機能評価や運動療法として活用する……竹岡広二 146

Part 2

業務上必要な知識とスキル

1 日々の仕事を円滑に進める知識

- 1 看護師を味方にしよう—信頼しあえる付き合い方とは……千野早也香 152
- 2 医師とのコミュニケーションが患者を救う—医師とのかかわり方……千野早也香 154
- 3 作業療法士・言語聴覚士とのかかわり……千野早也香 156
- 4 カルテ(経過記録)・退院時指導書(サマリー)の書き方……長島佳歩 158
- 5 セラピストにとっての説明の重要性—なぜわかりやすい説明をすることが大切なのか……竹岡広二 160
- 6 カンファレンスで心がけるべきこと……末竹真将 163
- 7 知っておくべき感染管理と対策……長島佳歩 166
- 8 押さえておくべき医療保険の知識……長島佳歩 169
- 9 押さえておくべき介護保険の知識……長島佳歩 172
- 10 リハ科の収益構造—算定・加算……境田淳平 175

Part 3

疾患別リハビリテーション

1 運動器リハビリテーション

- 1 松葉杖の基本と実践……佐川修平 178
- 2 システムティックなフローチャートで腰痛を分類して攻略しよう……竹岡広二 181
- 3 肩関節周囲炎を正確に読み解くために必要な3つのポイント……今井健太 185

- 4 変形性膝関節症の理学療法戦略……………中村僚太 188
- 5 人工膝関節全置換術(TKA)の理学療法……………中村僚太 192
- 6 変形性股関節症を再考する—予防のための考え方と患者の背景を知る重要性……………小峰知久 196
- 7 人工股関節全置換術(THA)を理解し理学療法に活かす……………佐川修平 199
- 8 骨折に対するリハビリテーションの考え方……………中村僚太 202
- 9 脊椎圧迫骨折の予後は急性期のリハビリテーションが勝負……………中村僚太 205
- 10 大腿骨頸部骨折のリハビリテーションをイチから見直そう……………中村僚太 208

2 脳血管疾患等リハビリテーション

- 1 脳卒中による運動麻痺と戦う準備……………関勝実 212
- 2 基本をとらえる高次脳機能障害……………関勝実 215
- 3 Pusher症候群に対するリハビリテーション……………嶋倉大吾 217
- 4 注意障害の理解と対応……………藤本裕汰 220
- 5 運動失調のメカニズムとアプローチ……………原航海 222
- 6 パーキンソン病と向き合うためには……………嶋倉大吾 225
- 7 脊髄損傷×理学療法のポイント……………金榮香子 228

3 呼吸器リハビリテーション

- 1 呼吸器疾患の特徴と評価……………岩淵翔一 231
- 2 COPDをゼロから学び直す……………石塚大悟 236
- 3 身近なのに知らない肺炎のリハビリテーション……………石塚大悟 238
- 4 今日から使える呼吸リハビリテーション……………石塚大悟 241
- 5 酸素療法の基礎を知る……………岩淵翔一 243
- 6 セラピストが知っておくべき人工呼吸療法の基本……………岩淵翔一 245

4 心大血管疾患リハビリテーション

- 1 リハで押さえておきたい心電図……………合田祥人 250
- 2 押さえておきたい虚血性心疾患の特徴……………合田祥人 253
- 3 心臓リハビリテーションで押さえておきたい不整脈4選……………合田祥人 255
- 4 心臓リハビリテーションで押さえておきたい運動強度……………合田祥人 258
- 5 心リハで押さえておきたい下肢閉塞性動脈硬化症(ASO)……………合田祥人 261
- 6 押さえておきたい心不全について……………合田祥人 264

Part 4

各期・各場でのリハビリテーション

1 急性期リハビリテーションの知識

- 1 急性期リハビリテーションにおけるセラピストの役割……………加藤諒大 268
- 2 意識障害の解釈と評価……………加藤諒大 271
- 3 せん妄と不穏……………高任良知 274
- 4 院内急変時のリハ職としての対応……………高任良知 276

- 5 急性期だからこそ押さえないルート類の管理……………牧門武志 279
- 6 知っておきたい早期離床のキホン……………嶋倉大吾 281

2 回復期リハビリテーションの知識

- 1 回復期リハビリテーション病棟の特徴とセラピストの役割……………栗原康平 286
- 2 家屋評価と退院前の指導……………栗原康平 288
- 3 FIMの概要と回復期リハでの活用法……………栗原康平 290

3 外来リハビリテーションの知識

- 1 外来リハビリテーションの特徴とセラピストの役割……………肩祥平 292
- 2 外来リハビリテーションの期間と頻度……………田村淳 294
- 3 外来リハビリテーションにおける物理療法の役割……………田村淳 296

4 生活期リハビリテーションの知識

- 1 生活期リハビリテーションの特徴とセラピストの役割……………中田宏樹 298
- 2 入所サービス・通所サービス・訪問サービス……………七尾拓哉 301
- 3 在宅で必要な環境の把握……………七尾拓哉 303
- 4 ケアマネジャーと良好な関係を築く方法……………中田宏樹 305
- 5 サービス担当者会議……………中田宏樹 307

Part 5

働き方とキャリアアップ

1 働く場を考える

- 1 病院で働く中で押さえないフォローワーシップ……………安藤司 312
- 2 クリニックでの実績はタイムマネジメントが鍵……………安藤司 314
- 3 スポーツ分野での働き方……………山口将史 316
- 4 施設という場だから身につけたいマネジメントの視点……………安藤司 318
- 5 これからのセラピストの職域拡大……………山田修平 320
- 6 世界を視野に働く時代……………堀田孝之 322

2 キャリアやスキルの身につけ方

- 1 新人時代に知っておきたい論文検索の基礎知識……………嶋倉大吾 325
- 2 1年目の勉強方法……………肩祥平 329
- 3 キャリアを考えた転職……………安藤司 332
- 4 副業という選択肢……………肩祥平 334
- 5 大学院への進学を考える……………嶋倉大吾 336
- 6 アウトプットとしての症例報告……………岡田雄大 339
- 7 理学療法士が知っておくべきお金の使い方……………堀田孝之 341

column コラム……………15, 16, 21, 33, 85, 90, 109, 126, 139, 162, 168, 171, 184, 191, 204, 211, 249, 338

編集担当：向井直人
表紙・本文デザイン：野村里香
DTP：真興社
本文イラスト：
中井恵子、日本グラフィックス